

第 90 期 中 間 報 告 書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

証券コード 6246

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

CONTENTS

Top Message 1

事業の概況 3

事業紹介 5

業績の概況 8

株式の状況 9

会社概要 10

株式会社 **テクノスマート**

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第90期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間における経済環境は、長期化するロシアによるウクライナ侵攻により、民主主義国家の欧米と覇権主義・権威主義国家の中露の対立が一段と進み、更にこの対立がグローバル・サウスを巻き込む広がりを見せております。注目される中国経済も、ゼロコロナ政策解除後の景気回復の遅れに加えて不動産市場の低迷による減速が見られます。このため世界経済全体の先行きはインフレやエネルギー・食糧価格の上昇など依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社は大きな成長が見込まれる車載用リチウムイオン二次電池の電極用、セパレータ用、及び燃料電池用塗工乾燥装置、液晶テレビやスマートフォン、タブレット端末用の光学フィルム、タッチパネル用塗工乾燥装置、及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は9,641百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は、1,599百万円（前年同期比26.7%増）、経常利益は1,619百万円（前年同期比26.1%増）、四半期純利益は1,097百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

受注高は、7,017百万円（前年同期比32.8%減）、受注残高は、24,178百万円（前年同期比0.0%減）、その内輸出受注残高は、11,203百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

当第2四半期累計期間における受注高は、低調であった第1四半期累計期間から回復しましたが、第1四半期累計期間の落ち込みが影響し、前年同期比の32.8%減となりました。第3四半期以降もディスプレイ部品関連機器やエネルギー関連機器などの有望な案件も多く、引き続き積極的に受注活動を進めてまいります。

しかしながら価格競争に加えて、納期についても厳しい競争となっており、半導体にからむ電気部品の長納期化については、回復気味にあるものの今しばらく続くと思われます。今後も積極的に納期短縮努力を進めてまいります。

このような中、光学フィルム関連設備と合わせて、今後の成長に期待のかかる二次電池、燃料電池などのエネルギー関連業界に対する更なる販売強化と、次世代5G向け先端材料や全固体電池などへの取り組みも積極的に行ってまいります。

株主様におかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長

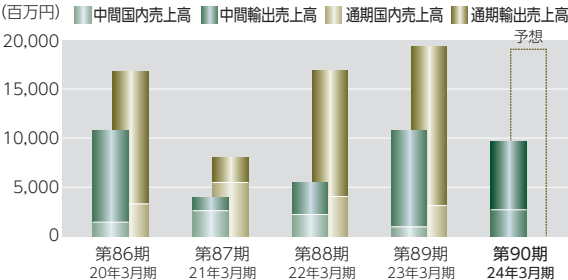
柳井 正巳



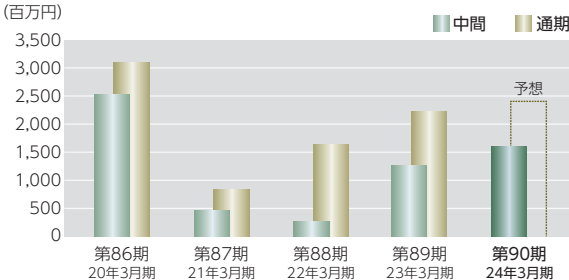
5年間の推移

売上高、営業利益、当期純利益は堅調に推移
納期短縮に取り組む

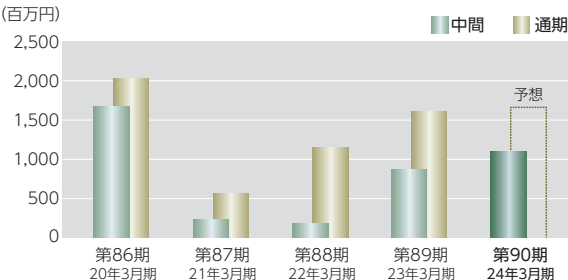
国内売上高・輸出売上高



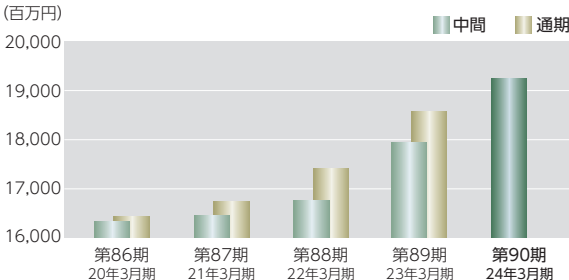
営業利益



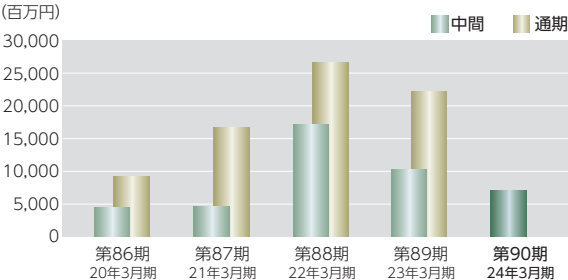
当期純利益



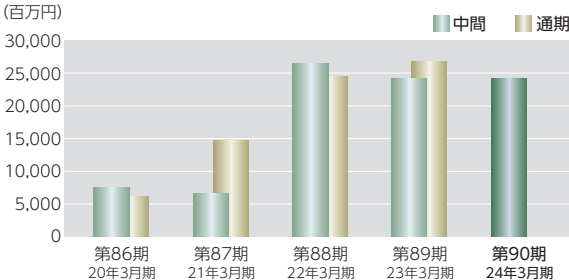
純資産額



受注高



受注残高



2024年3月期 業績予想

売上高	19,000 百万円	営業利益	2,400 百万円	当期純利益	1,660 百万円
-----	------------	------	-----------	-------	-----------

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

〔 経 営 理 念 〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様の発展と地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

経 営 理 念

環 境 理 念

独 自 理 念

〔 環 境 理 念 〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本 方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

〔 独 自 理 念 〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
40.6%

エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。



売上高比率
20.9%

機能性フィルム関連塗工機器

一般産業資材用のフィルム塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。



売上高比率
18.5%

化工機器

高機能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブラフィルム用製膜関連製造装置。



売上高比率
0.2%

電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
11.8%

その他

各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。



売上高比率
8.0%

「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適應。

CEDコーター



高品位塗工に對應クローズドコーティングシステム。

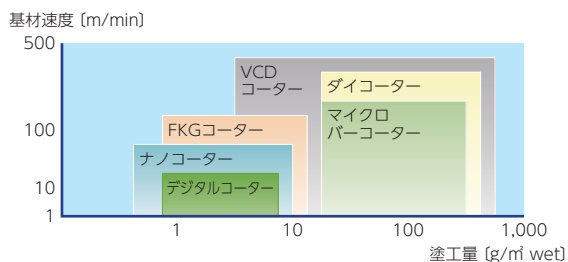
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ



研究、試作用途に對應した設置場所を選ばないコンパクト設計。

二次電池のご紹介

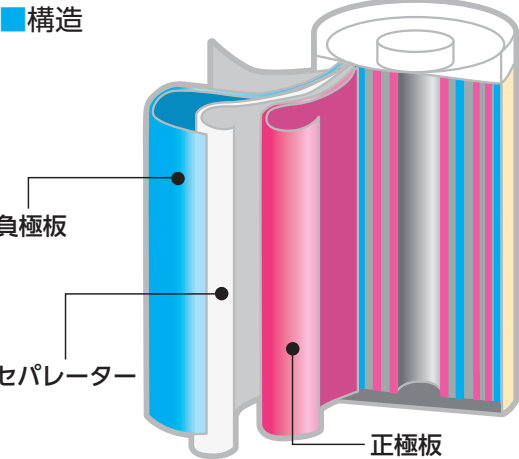
リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

【用途例】

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
- ・ノートパソコン、デジタルカメラ
- ・電気自動車、ハイブリッドカー 等

二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

■構造



リチウムイオンバッテリー



円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

■主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

二次電池

▼使用箇所

- 正極板
- 負極板
- セパレーター



タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

カバーガラス

ITO層

IMフィルム

ITO層

IMフィルム

偏光板

カラーフィルター基板

配向膜

液晶層

配向膜

アレイ基板

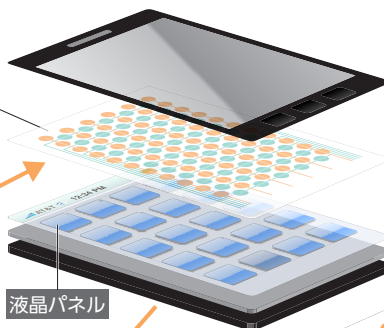
偏光板

指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることによって位置を把握できます。

ITO層
(Y軸方向)

絶縁体

ITO層
(X軸方向)



電気容量の
変化検知

断面図

絶縁体

タッチ位置の
検知イメージ

ITO層

電気を通す透明な薄膜。真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。

ハードコートフィルム
(表面保護)

繰り返し使用しても傷が入りにくく、透明度が高く表面を保護している。

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM（インデックスマッチング）フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板（偏光フィルム）
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターン視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

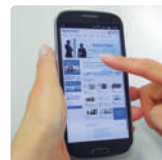
タブレット端末



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム

スマートフォン



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム
- フレキシブルプリント基板

業績の概況

■貸借対照表 (2023年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	22,292,037	流動負債	8,085,665
現金及び預金	11,131,971	買掛金	1,432,624
受取手形、売掛金 及び契約資産	8,973,516	電子記録債務	4,252,818
電子記録債権	1,411,639	未払法人税等	551,825
棚卸資産	572,549	前受金	1,357,772
その他	251,863	引当金	279,285
貸倒引当金	△ 49,503	その他	211,338
固定資産	6,474,544	固定負債	1,453,300
有形固定資産	4,416,645	引当金	963,604
建物	2,110,275	資産除去債務	6,412
機械及び装置	166,239	その他	483,283
土地	2,001,209	負債合計	9,538,965
その他	138,921	純資産の部	
無形固定資産	43,410	株主資本	17,366,807
投資その他の資産	2,014,488	資本金	1,953,930
投資有価証券	1,716,298	資本剰余金	1,683,457
その他	298,190	利益剰余金	13,870,865
		自己株式	△ 141,444
		評価・換算差額等	1,860,808
		その他有価証券評価差額金	757,569
		繰延ヘッジ損益	6,131
		土地再評価差額金	1,097,107
		純資産合計	19,227,616
資産合計	28,766,581	負債・純資産合計	28,766,581

■損益計算書 (2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
	前 期		当 期	
売 上 高	10,716,246	100.0	9,641,913	100.0
売 上 原 価	9,040,703	84.4	7,576,139	78.6
売 上 総 利 益	1,675,543	15.6	2,065,774	21.4
販売費及び一般管理費	413,567	3.9	466,494	4.8
営 業 利 益	1,261,976	11.8	1,599,279	16.6
営 業 外 収 益	33,202	0.3	32,477	0.3
営 業 外 費 用	10,624	0.1	12,231	0.1
経 常 利 益	1,284,554	12.0	1,619,526	16.8
特 別 利 益	99	0.0	111	0.0
特 別 損 失	—	—	0	0.0
税引前四半期純利益	1,284,653	12.0	1,619,637	16.8
法 人 税 等	407,281	3.8	522,467	5.4
四 半 期 純 利 益	877,371	8.2	1,097,170	11.4

■キャッシュ・フロー計算書

(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

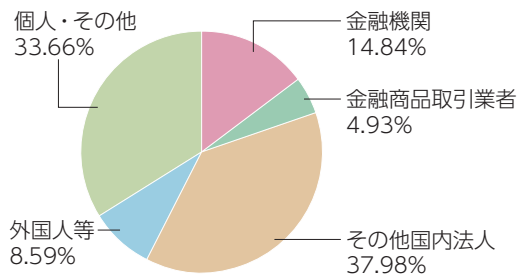
(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,355,761	2,404,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,447	△ 181,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 305,820	△ 673,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	87	—
現金及び現金同等物の増減額	3,024,580	1,548,920
現金及び現金同等物の期首残高	10,538,638	9,483,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,563,218	11,031,971

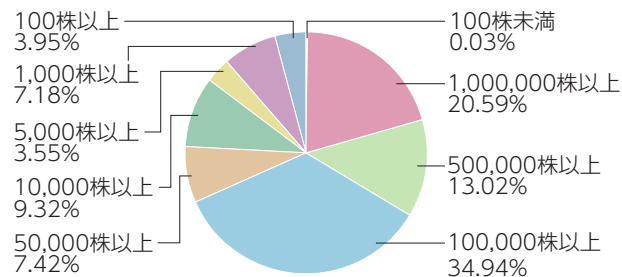
株式の状況 (2023年9月30日現在)

■発行可能株式総数	25,000,000株
■発行済株式の総数	12,401,720株
■株主数	3,308名

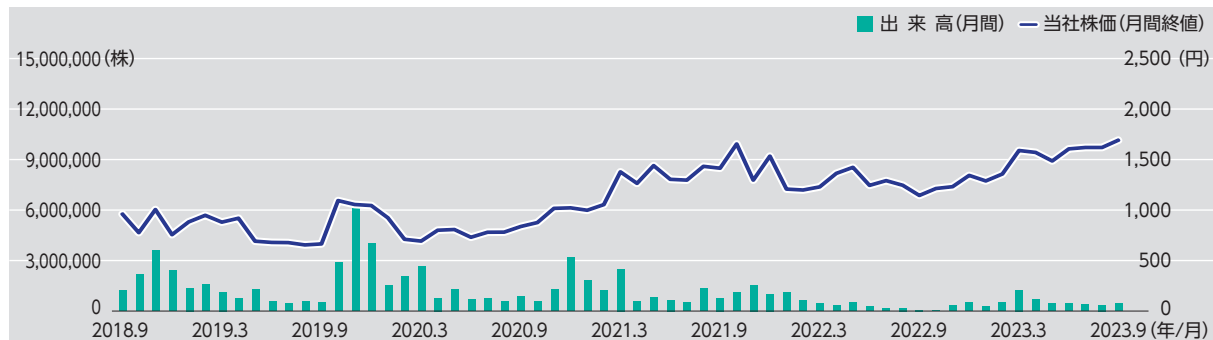
■所有者別株式分布



■所有数別株式分布



■当社株価と出来高



会社概要 (2023年9月30日現在)

社 名 株式会社テクノスマート
創 業 1912年6月15日
資 本 金 19億5,393万円
本 社 所 在 地 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号
久太郎町恒和ビル2階
電 話 06-6253-7200 (代)
従 業 員 数 240名
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コー ド 6246
事 業 所 滋賀事業所
[滋賀県野洲市]
東京支店
[東京都中央区]



役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	柳	井	正	巳
常務取締役	飯	田	陽	弘
取締役	下	村	壽	一
取締役	榎	本	一	郎
取締役	西	宮	良	材
取締役*	青	木	透	
監査等委員				
取締役*	岡	健	治	
監査等委員				
取締役*	平	松	亜	矢
監査等委員				

※は社外取締役であります。

株主・投資家情報サイト

<https://www.technosmart.co.jp/ir/>

■トップページ



click

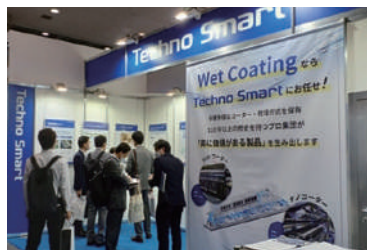


当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

トピックス

第11回関西高機能フィルム展出版

2023年5月17日～5月19日の3日間、インテックス大阪で開催された第11回関西高機能フィルム展に出展いたしました。開催期間中、大勢の方々が当社ブースを訪問され、盛況のうちに終了いたしました。



お知らせ

「中間配当金支払いに関するご通知」の郵送停止について

株主の皆さまへの「中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきによるお知らせは、誠に勝手ながら本年をもって終了とし、今後は当社ホームページにおいてご案内させていただくこととしました。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行う
公告掲載アドレス：<https://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
[郵便物送付先/各種お問合せ先] 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
[受付時間 9：00～17：00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]
ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。